

は じ め に

本県の財政状況は、平成 10 年度以来、数次にわたる財政構造改革の努力にもかかわらず依然として巨額の財源不足が生じています。

また、昨年秋からの世界的な同時不況は、県内企業等にも大きな影響を及ぼしており、製造業のウエイトの高い本県においては、法人二税などの県税収入が大幅に減少しています。

このような事態を受け、本年 6 月に財政収支見通しを試算したところ、現行の「財政構造改革プログラム」等に沿った取組を行ったうえでもなお、平成 22 年度において 230 億円の財源不足額が見込まれる状況となっています。

また、財源調整的な基金である「財政調整基金」や「県債管理基金」の平成 21 年度末の残高見込みが、あわせて 50 億円程度になるなど、本県の財政状況は、これまでにない危機的な状況となっています。

このため、県では現行の「財政構造改革プログラム」や「収支改善に向けた更なる見直し」に加えて、大幅な事業見直しなど、財源不足への対応に取り組んでいるところです。

このような中で、平成 22 年度予算編成においては、「財政構造改革プログラム」等の着実な実行に加えて、歳入歳出全般にわたって、さらに一層の見直しを行うことにより、財源不足の縮減に向けた取組を進める一方で、県民の「^{いのち}生命」を守り育て、次世代につなげる施策や、未来に向けての種まきとなる施策に一層の重点化を図るなど、「^{いのち}県民の生命とくらしを守る」ことを最優先で考えながら、個性豊かで活力あふれる滋賀の未来を支える「次世代の育成」を目指して全庁挙げて取り組むこととしています。

この財政事情は、本県の財政がどのような状況にあるのか、またどのような運営をしているのかなどを県民のみなさんに広く知っていただくため、年 2 回（5 月と 11 月）定期的に公表しているものです。

今回は、平成 20 年度決算の概要、平成 21 年度上半期における予算の補正状況やその執行状況、各公営企業の業務状況等について報告するとともに、健全化判断比率および資金不足比率などの各種指標や新地方公会計モデルによる財政分析についてお知らせします。

目 次

一般会計および特別会計の財政事情

1	平成 20 年度決算の概要	1
	一般会計決算の概要	
	特別会計決算の概要	
	普通会計決算の概要	
	財政指標から見た滋賀県財政	
2	平成 21 年度の財政運営の状況	1 3
	上半期における予算の補正状況	
	予算の執行状況	
	一時借入金および県債の状況	
3	滋賀県財政の課題等と今後の運営	1 7
	滋賀県財政の課題等	
	今後の財政運営	
	平成 22 年度予算編成方針	
4	収益事業の経営状況	2 9
5	県有財産の状況	2 9

公営企業の業務状況

1	病院事業の業務状況	3 0
	事業の概要	
	経理の状況	
2	工業用水道事業の業務状況	3 3
	事業の概要	
	経理の状況	
3	上水道供給事業の業務状況	3 6
	事業の概要	
	経理の状況	

健全化判断比率および資金不足比率の概要

1	健全化判断比率および資金不足比率の概要	4 0
---	---------------------	-----

新地方公会計モデルによる財政分析

1	新地方公会計制度の概要	4 3
2	財務書類 4 表の概要	4 4
3	貸借対照表	4 6
4	行政コスト計算書	4 9
5	純資産変動計算書	5 1
6	資金収支計算書	5 2
7	県民一人当たりの財務書類 4 表	5 3
8	新地方公会計モデルによる財政指標	5 4

付 表		5 7
-----	--	-----
